

ARIBからの
お知らせ

第63回規格会議開催のお知らせ

下記のとおり第63回規格会議を開催いたします。規格会議委員の皆様のご出席をお願いいたします。

記

- 1 日時 平成18年9月28日(木)午後2時から4時まで
- 2 場所 東海大学校友会館 望星の間 (霞が関ビル33階)
東京都千代田区霞が関3-2-5

なお、議案はARIBホームページ (<http://www.arib.or.jp/>) の「お知らせ」に9月13日(水)頃に掲載しますのでご参照ください。

ARIBの活動紹介

ARIBが事務局を務める任意団体

当会が事務局を担当している任意団体の概要について紹介します。また、これらの中には、標準規格案等の作成・提案を行う団体もあります。その例についても紹介します。

<ARIBが事務局を務める任意団体の一覧>

団体名称 (略称)	主な活動と会員数 (9月1日現在)
電波環境協議会 (EMCC) http://www.arib.or.jp/emcc/	不要電波による障害を防止し除去するために調査検討を行い、対策を協議する。 会員数：69
光無線通信システム推進協議会 (ICSA) http://www.icsa.gr.jp/	光無線通信システムに関する標準化及び普及活動を行う。 会員数：18
PHS M o U グループ http://www.phsmou.org/	PHSの国際的な普及・啓蒙活動及び技術仕様の作成を行う。 会員数：55
マルチメディア移動アクセス	マルチメディア移動アクセス (MMAC) の早期実現及び普及促進のため、MMACに関する調査研究、

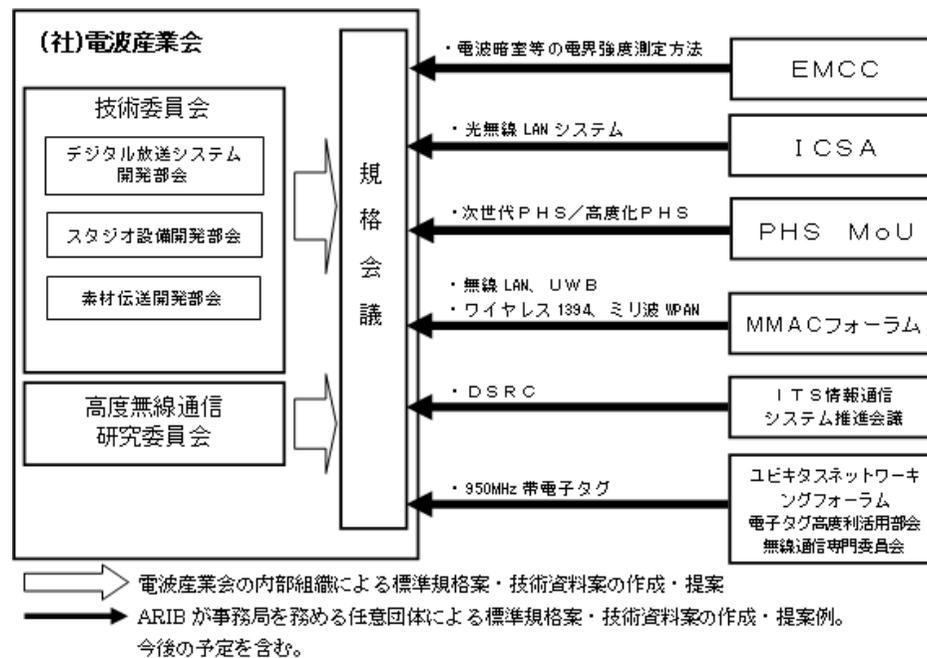
(MMAC) フォーラム http://www.arib.or.jp/mmac/	システム仕様検討、実証実験、情報交流及び普及啓発活動等を行う。 会員数：96
I T S 情報通信システム推進会議 http://www.itsforum.gr.jp/	人と道路と車両とを情報でネットワークする高度道路交通システム (ITS) の実現に向けて、特に情報通信分野における研究開発や標準化を推進する。 会員数：126
モバイルITフォーラム (mITF) http://www.mitf.org/	新世代モバイルに関する研究開発及び標準化の調査研究、関連機関との連絡調整、情報の収集、普及啓発活動等を行う。 会員数：91
高速電力線通信推進協議会 (PLC-J) http://www.plc-j.org/	電力線通信の高速化技術、既存技術との共存技術の検証を行い、日本国内での高速電力線通信の早期実用化を実現する。 会員数：49
E T S -VIII利用実験実施協議会	E T S -VIII* 1の利用実験について、実験計画の取りまとめ、衛星開発機関との調整等を行う。 会員数：13
ユビキタスネットワークワーキングフォーラム 電子タグ高度活用部会 無線通信専門委員会	主としてUHF帯を使用する電子タグについて実証実験等の連絡・調整、評価・分析を実施するとともに、標準案の作成を行う。 構成員数：44
I M O 関連問題検討会	IMO (国際海事機構) の情報通信関連案件について、関係者の意見の取りまとめ及び関連する情報の収集・交換・提供を行う。 構成員数：19
A A C 調整連絡会	デジタル放送の円滑な普及を目的とし、AAC* 2音声に係る諸課題に関する調査・解決案の提案、関連機関の間の調整・連絡を行う。 構成員数：25

詳細は、各団体のホームページを参照ください

* 1 技術試験衛星VIII型

* 2 AAC(Advanced Audio Coding)：日本のデジタル放送で使われている音声圧縮方式。

<ARIB標準規格案・技術資料案の作成・提案についての例>



電気通信・放送
行政の動き

「アジア・ブロードバンド計画」の改定
(8月31日付総務省報道発表より)

「アジア・ブロードバンド計画」は、「e-Japan重点計画2002」（平成14年6月18日高度情報通信ネットワーク社会推進戦略本部決定）及び「経済財政運営と構造改革に関する基本方針2002」（平成14年6月25日閣議決定）に基づき、アジアにおけるブロードバンド環境の整備に向けた行動計画として、平成15年3月28日に総務省及び関係府省により定められました。

アジアにおけるブロードバンド環境の整備のため、総務省及び関係府省は、本計画に基づき各般の取組を行ってきました。

本計画においては、アジア地域におけるブロードバンドの普及状況や本計画に基づく施策の実施状況等を踏まえ計画を見直すこととされているため、今般これらの状況をふまえ、総務省及び関係府省は「アジア・ブロードバンド計画」を改定しました。

詳細は、<http://www.soumu.go.jp/s-news/2006/060831_4.html>をご参照ください。

<「アジア・ブロードバンド計画」の見直し(概要)から抜粋（*印が新重点項目）>

アジア・ブロードバンド計画見直しの概要(Ⅲ施策 主な新規重点項目①)

I ブロードバンドの基盤としてのネットワークインフラ整備のための施策

- 1 開発途上国等のネットワーク・インフラ整備の支援
 - (1)基幹的ネットワーク・インフラ整備やIP電話の導入に向けた支援*
 - (2)政策対話(ブロードバンド・ネットワークの重要性についての認識を共有)*
 - (3)都市部とルーラル地域間における格差の解消*(長距離デジタルリンク、FWA等の活用、パイロットプロジェクトなどの手段によるテレセンター設置推進等)
 - (4)島嶼国の通信基盤整備の支援方法検討*
 - (5)防災等情報伝達システムの構築支援*(防災・環境保全のためのモニタリング及び警報システム、津波早期警報システム等)
- 2 アジアの国際ネットワーク・インフラ整備の推進

II アプリケーション、コンテンツ、共通の基盤の整備のための施策

- 1 アプリケーションの充実*
- 2 デジタル・コンテンツの流通促進
 - (1)情報流通促進のための共同実験*
 - (2)デジタルアーカイブ利用促進のためのポータルサイト*
- 3 共通の基盤の整備
 - (1)電子タグ・センサーネットワークの技術開発*(日中韓の協調、国際展開を図るための基盤技術の研究開発等)
 - (2)次世代IPネットワークの研究及び協力、次世代携帯電話の標準化に関する協調(日中韓の協調等)*
 - (3)超高速・高機能な研究開発テストベッドネットワークの活用*
 - (4)超高速インターネット衛星(WINDS)を利用した実験の実施*
 - (5)迷惑メール等対策(多国間MOU等に基づく協力)*
 - (6)デジタルテレビ放送、IP放送等の普及推進*

アジア・ブロードバンド計画見直しの概要(Ⅲ施策 主な新規重点項目②)

Ⅲ 人材育成のための施策

- 1 ネットワークやアプリケーションの企画・開発・運用を行うことのできる人材の育成の強化*
 - (1)第三国研修(ベトナム電気通信研修センター等における高度な人材育成)*
 - (2)各国における国民のICT利用能力向上の支援*
 - (3)現地進出している企業等を通じた研修*
 - (4)教育コンテンツのホームページ等での閲覧*
 - (5)研修受講者のデータベース化、フォローアップ体制の整備*
- 2 産官学の連携による人材育成*
 - (1)産学連携による人材育成(インターンシップ、共同研究、人材交流等)*
 - (2)実践的IT人材育成のためのカリキュラム構築(産業界の個別教育コンテンツの活用・統合)*

IV 横断的施策

- 1 国家戦略、政策・制度の整備等への支援
 - (1)官民における広範囲な連携・協調(日印ICTフォーラム等の方式)*
 - (2)ベストプラクティスの展開(官民の成功事例等の共有)*
 - (3)国際セミナーやインターネットによる情報発信*
- 2 開発途上国に対する支援
 - 各国・国際機関との連携(効果的な支援の推進)*

「通信・放送の総合的な法体系に関する研究会」の開催 (8月25日付総務省報道発表より)

1 背景・目的

「通信・放送の在り方に関する政府与党合意(平成18年6月20日)」において、「通信と放送に関する総合的な法体系について、基幹放送の概念の維持を前提に早急に検討に着手し、2010年までに結論を得る。」とされたことを踏まえ、通信・放送の融合・連携に対応する法制度の在り方に関して専門的見地から調査研究を行い、通信・放送の融合・連携に対応した法体系の検討の方向性を具体化することを目的として開催します。

2 検討内容

以下の事項に関する調査研究を行います。

- (1) 現行法制の運用状況と課題
- (2) 通信・放送関連技術、ネットワークの現状と将来見通し
- (3) 通信・放送関連サービス・ビジネスモデルの将来見通し
- (4) 伝送・プラットフォーム・コンテンツ等の規律の在り方
- (5) 通信の秘密・表現の自由の在り方
- (6) 諸外国のサービス状況及び法制度等

3 開催期間

平成18年8月30日（水）に第1回会合を開催。1年半程度で取りまとめを行う予定です。

詳細は、<http://www.soumu.go.jp/s-news/2006/060825_3.html>をご参照ください。

編集後記

朝出勤前に、家内が大きな声をあげるので、何かと思ったら、ベランダの壁に蜂が巣を作ったかのように縦20cm、横10cmほどの大きさに固まってうごめいており、驚きました。テレビ等では見たことありますが、実物は見たことがないので、驚きながら半分は感激でした。そういえば昨日夕食時にも2~3匹の蜂が部屋の中を飛び回ってじゃまだったのはこれが原因だったようです。とにかくこんなに多くの蜂どうしたものかとインターネットで調べると、8月から9月にかけてスズメ蜂が巣作りで活動が活発になるそうです。1回さされて抗体ができた後にもう一度さされると大変つらいそうです。幸い10分ほどで、散らばりはじめたときを狙って殺虫剤をまいて追い払い、事なきをえました。つかの間のドラマで、もうちょっとしてくれたほうが面白かった気もしました。後には、巣があるわけではなく、あれだけの大きさがすべて蜂とは千匹くらいいたのかもしれない。きっと女王蜂が飛んできて来て働き蜂がその周りをうごめいていたのでしょう。見てはいませんが女王蜂という映画があったのを思い出しました。

(La boheme)

[ページの先頭に戻る ▲](#)